

代表者名	押切 光敏	所管部課名	建設交通部港湾空港課
所在地	秋田市飯島字堀川 118	設立年月日	平成 6 年 11 月 1日

【沿革、及び、県の出資理由】

秋田・男鹿・本荘の各マリーナの管理運営のため、県等の出資により平成6年11月に設立された。

【出資者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	13	26.0
市町村	3	12	24.0
その他	12	25	50.0
計	16	50	100.0

【事業】

主たる業務

- (1) マリーナの管理運営業務の受託
- (2) 船舶用燃料、マリーン用品の販売
- (3) 船舶修理業
- (4) イベント、会議等の企画運営業務他

事業実績 (隻)

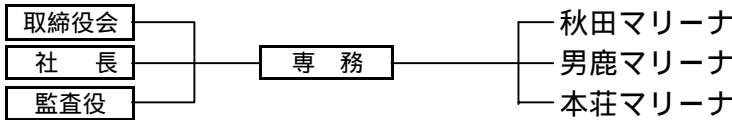
事業名等	11年度	12年度	13年度
入艇数	395	418	437

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度期末隻数は437隻で前年に対し19隻増加となり104.5%の伸長率となりました。内新規入艇数は46隻となっております。燃料販売が順調で、売上高は112.6百万で前年比100.4%の微増ながら、第8期も黒字となり増収・増益の決算となりました。14年度は、1：利用者満足度の向上を目指し運用規定の見直し 2：自主事業として貸し船具倉庫・中古船台事業への取組み 3：保管艇確保、受入のため保管スペースの部分整備等をもって、経営基盤を固め地域に根ざした海洋レジャー基地を目指します。

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県OB		
非常勤	8	1
内、県OB	1	
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	2	

職員数 (人)

	正職員	平均年齢
内、県OB	5	34 歳
出向職員	1	
内、県職員	13	正職員 平均勤続年数
臨時・嘱託	1	
内、県OB	1	5.5 年
計	19	
内、県関係者	1	

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	114
受託事業収入	72
補助金収入	
自主事業収入	40
運用益収入	
その他	2
経常支出 B	109
人件費	60
その他	49
経常損益 C = A - B	5
経常外収入	1
経常外支出	2
当期損益	4

財務状況(13年度末) (百万円、%)

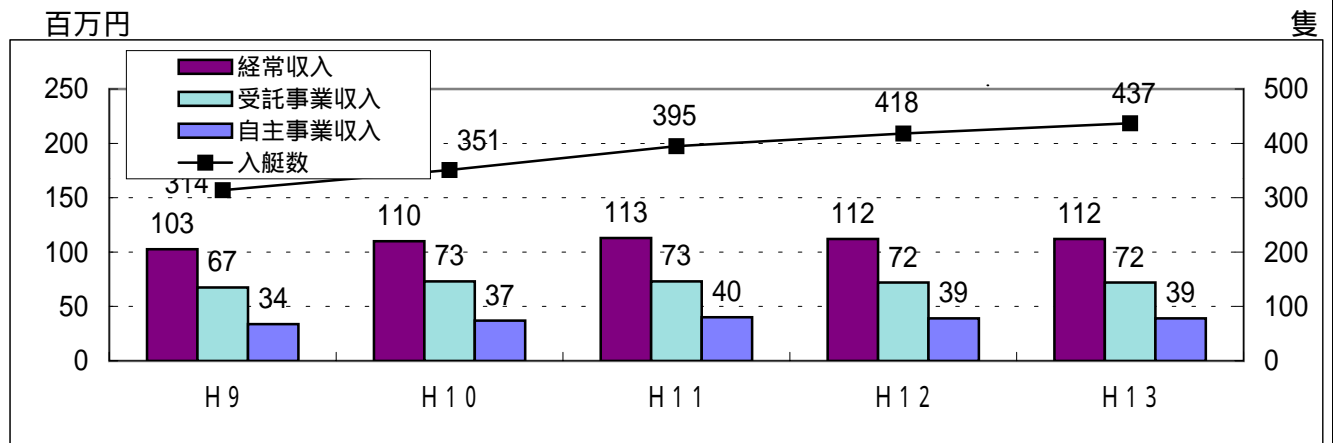
	金額	構成比
流動資産	107	79.3
固定資産	28	20.7
資産計	135	100.0
流動負債	68	50.4
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等		
負債計	68	50.4
資本金	50	37.0
剰余金	17	12.6
資本計	67	49.6
負債・資本計	135	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	73,190	72,882	72,795	秋田県から委託されたマリーナの管理運営業務の受託
貸付残高				

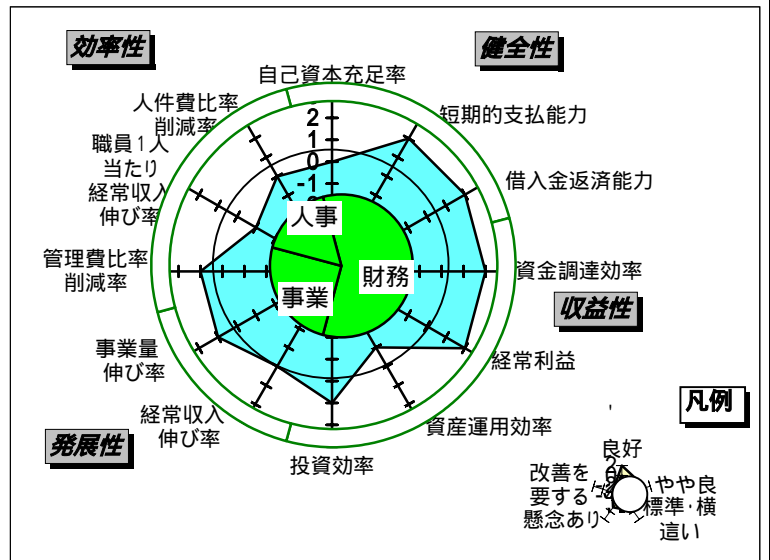
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	49.45 %
流動比率	157.31 %
借入金返済年数	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	4.63 %
総資本回転率	0.84 回
総資本利益率	3.91 %
経常収入額	114,715 千円
事業量(入艇数)	437 隻
管理費比率	54.93 %
職員1人当たり経常収入額	6,038 千円
人件費比率	52.32 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

* 経営状況 当期売上高112百万円(受託収入72百万・自主収入39百万円)で前年比100.4%の伸長と微増ながら増益・増収となり、前期に引続き当期利益4百25万円の黒字決算とすることが出来ました。

* 期末入艇数は437隻で前年に対し19隻の増加となり伸長率104.5%となりました。内新規入艇数は46隻となっております。

* 経営上の課題 ・利用者満足度の向上のため運用規定の見直し ・自主事業の拡大として貸し船具倉庫・中古船台事業への取組み ・保管艇確保、受入のため保管スペースの部分整備等を具現化してまいります。

* 問題点 開業9年目を迎え浮き桟橋施設・トラバリア機材等の老朽化も目立ち初め、修繕保守費が増大しており、今後経営上に大きな負担となって来るものと懸念される。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
------------	---------------